

開催中の展覧会

特別展

ミナ ペルホネン / 皆川明 つづく minä perhonen / minagawa akira TSUZUKU 2020年7月3日(金)～11月8日(日)

休館日：毎週月曜日、ただし8月10日(月・祝)、9月21日(月・祝)は開館、8月11日(火)、9月23日(水)は休館

デザイナーの皆川明(1967-)が設立したブランド、ミナ ペルホネン。流行に左右されず、長年着用できる普遍的な価値を持つ「特別な日常服」をコンセプトとし、オリジナルの生地からプロダクトを生み出す独自のものづくりを続けてきました。

皆川がミナ ペルホネンの前身となる「ミナ」を立ち上げたのは1995年。ファッションからスタートしたその活動は、次第にインテリアや食器など生活全般やホスピタリティを基盤にした分野へと拡張しています。そのたゆまぬ歩みは、2020年に25周年を迎えました。

本展覧会の「つづく」というタイトルは、この時間的な継続性を示すものであるとともに、つながる・連なる・手を組む・循環するなど、モノや人が連鎖し何かを生み出していく生成のエネルギーを想起させる言葉でもあります。

多義的な意味をもつ「つづく」をキーワードに、本展覧会では、生地や衣服、インテリア、食器等のプロダクトに加えて、デザインの原画、映像、皆川明の挿絵など創作の背景を浮き彫りにする作品群や資料も併せて展示いたします。

展覧会特設サイト mina-tszuku.jp

日時指定予約制

新型コロナウイルス感染対策として、本特別展の鑑賞は日時指定の事前予約制となります。詳細は展覧会特設サイトをご確認ください。



"pur"2018-19"AW photo: Mitsuo Okamoto

観覧料

一般:1,400円/大学生:1,000円/70歳以上:700円/障がい者(一般:350円、大学生:250円)/高校生以下:無料

※障がいのある方の介護の方1名は無料

※70歳以上、障がいのある方は、会期中、館内券売所でのみ販売

※一般以外の料金には証明できるものの提示が必要

関連イベント

皆川明氏が建築家の中村好文氏とオンラインのクロストークを行います。7月下旬に展覧会特設サイト上で動画にて公開します。そのほかにもオンラインのトークイベントなどを開催予定です。詳しくは展覧会特設サイトをご確認ください。

2020年 コレクション展 I

特集 **動く!美術** 動きはどう 表現されてきたか Visual Experiments in Expressing Motion **Motion in Art**

展覧会特集ページ

artm.pref.hyogo.jp/exhibition/j_2003/detail.html

2020年6月2日(火)～9月22日(火・祝)

前期:6月2日(火)～7月5日(日) 後期:7月11日(土)～9月22日(火・祝)

休館日：毎週月曜日、ただし8月10日(月・祝)、9月21日(月・祝)開館、8月11日(火)休館
※7月6日(月)～7月10日(金)は展示替えのため休館

「特集」では、美術の中の「動き」に着目します。動き回る人物や動物、多様性に満ちた自然の営み—これらは、美術の中でどのように作品化されているのでしょうか。絵画や立体作品の中でとらえられた様々な動きの表現を考えます(常設展示室1～3)。そのほか「表現主義の版画」(常設展示室4)、「近現代の彫刻」(常設展示室5)、「洋画・日本画の名品—時代は動く、美術も動く—」(常設展示室4)、小磯良平記念室、金山平三記念室でも、館所蔵の選りすぐりの作品を展示します。



飯内佐斗司(犬モ歩ケバ) 1989(平成元)年

観覧料

一般:500(400)[300]円/大学生:400(300)[200]円/70歳以上:250(200)[150]円/
障がいのある方(一般):100(100)[50]円/障がいのある方(大学生):100(50)[50]円/
高校生以下:無料

※()内は団体割引料金/[]は特別展とのセット料金

※70歳以上の方、障がいのある方は証明書をご提示ください

※障がいのある方の介護の方1名は無料

毎月第2日曜日は
7/12(日)
&
8/9(日)
「コレクション展」無料

当館の10,000点に及ぶ収蔵作品からテーマを設けて紹介する「コレクション展」。より多くの方にご覧いただくため、公益財団法人伊藤文化財団様のご協力により、毎月第2日曜日は観覧料を無料といたします。この機会にぜひ、ご観覧ください。